

# 本校の目指す「人権教育」 ～基本的な方針～

## 昭和村立昭和中学校

本校の生徒は、全体として落ち着いた学校生活を送り、学校行事等にもよく取り組んでいますが、次のような課題もみられます。

自分と異なる考え方をうまく受け入れられない傾向がある。  
生徒間のトラブルは、心ない言動から生じたものが多い。  
授業中の友達の発言を笑ったりするような言動もみられる。  
自分の考えを積極的に表現することを苦手と感じる生徒が多い。



そこで本校は、課題解決に向け文部科学省の『人権教育推進事業』の指定を受け、人権教育の充実に取り組んでいます。

## 人権教育で目指すこと ～こんな人になってほしい～

本校では、人権教育を通じて次のような心を育てたいと思っています。

自他を大切にし、お互いを認め合う気持ち  
人権に関する基礎的内容を理解し、差別や偏見をなくそうとする心情  
身近な人権問題に気付き、正しく判断し解決しようとする意欲  
望ましい関係づくりにあきらめずに取り組む態度



## 人権教育の取組 ～私たちががんばること～

今年度、本校では目指す生徒像の実現に向け、次のような取組を行っていきます。

### (1) 「特別の教科 道徳」(以下「道徳科」)の指導の充実

生徒が自ら考え主体的に取り組める『道徳科』の授業を通じて、お互いの意見を尊重しお互いのよさを生かしながら、「自他を大切にする気持ち」、「差別や偏見をなくそうとする心情」を育て、道徳的判断力や実践意欲・態度を伸ばしていきます。



### (2) 各教科や学校行事等を通じた人権教育の充実

人権教育の視点から各教科等の指導計画を整理し、各教科で人権教育を意識した指導を充実させる準備を進めます。また、人権日よりや人権週間の取組を通じて、人権に関する理解、心情、意欲の育成を図ります。



### (3) 受容的で温かい生徒指導の充実

教師の人権感覚を高める取組とともに受容的で温かみのある生徒指導を実践し、生徒一人一人が人権感覚の土台となる自尊感情(自分を認める気持ち)を高められるようにします。